



クイック スタート ガイド



Cisco UCS Manager Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager R2

リリース 1.0

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

- 1 SCOM R2 Management Pack の概要
- 2 SCOM R2 Management Pack のインストール
- 3 管理ポートへの IP アドレスの割り当て
- 4 管理者用アカウントの作成
- 5 プロファイルへのアカウントの追加
- 6 検出間隔の調整
- 7 SCOM R2 Management Pack のアンインストール
- 8 マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

作成日 : 2011 年 2 年 16 日、OL-21813-01-J

前提条件

前提条件の詳細については、次のアドレスを参照してください。

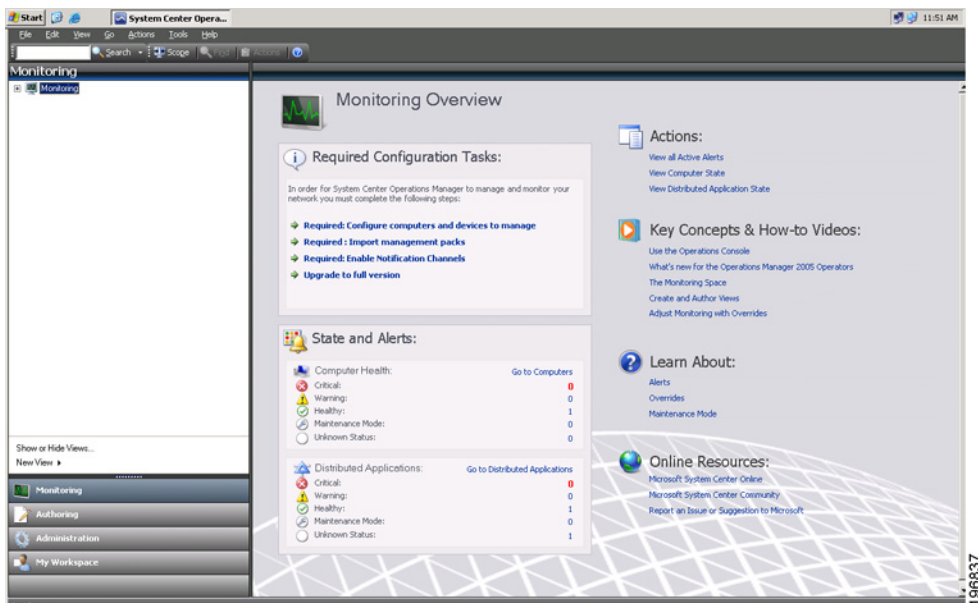
<http://technet.microsoft.com/en-us/library/bb309428.aspx>

1 SCOM R2 Management Pack の概要

Cisco UCS SCOM (System Center Operations Manager) R2 Management Pack は、SCOM サーバにインストールされている SCOM 2007 R2 用のプラグインです。データセンター内の UCS システムの状態をモニタするために使用します。このプラグインを使用すると、複数の UCS システムのシャーシ、ブレード、およびサービス プロファイルをモニタできます。さらに、Cisco UCS SCOM Management Pack により、Cisco UCS インフラストラクチャとベアメタル間、および Cisco UCS インフラストラクチャと (SCOM ですでに管理されている) 仮想化オペレーティング システム間の両方で、障害とイベントの関連付けがイネーブルになります。

図 1 に SCOM R2 を示します。

1 System Center Operations Manager R2



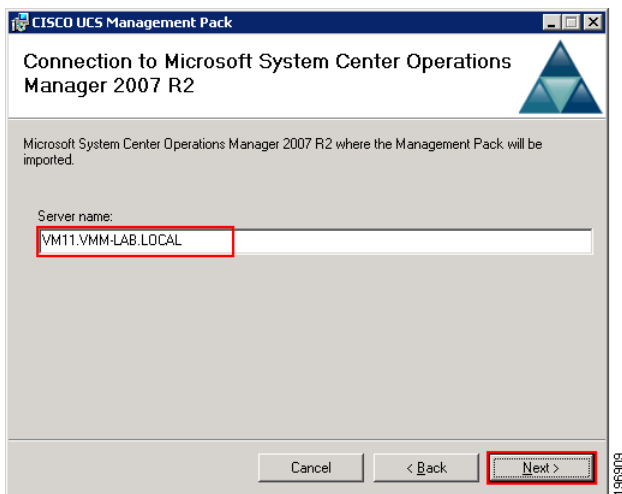
2 SCOM R2 Management Pack のインストール

管理パックのインストール手順は、次のとおりです。

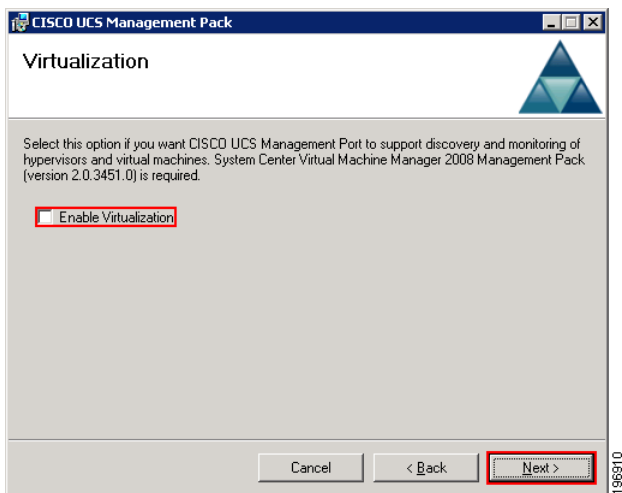
ステップ 1 CISCO.UCS.MP.Install.msi を起動して [Next] をクリックします。



ステップ 2 [Server Name] フィールドにサーバ名を入力して [Next] をクリックします。



ステップ 3 ハイパーバイザおよび仮想マシンの検出とモニタをサポートするには、[Enable Virtualization] チェックボックスをオンにして [Next] をクリックします。



(注)

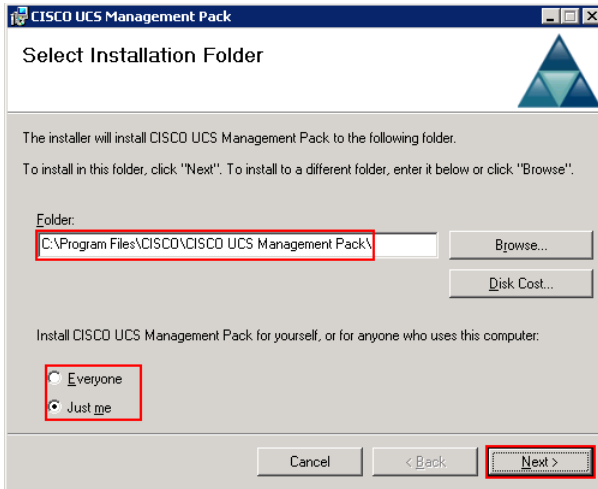
バーチャライゼーションのサポートをイネーブルにするには、Cisco UCS Manager Management Pack をインストールする前に System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) 2008 (バージョン 2.0.3451.0) をインストールする必要があります。インストール前に、SCVMM 2008 固有の管理パックが Operations Manager コンソールにインストールされている必要があります。インストールの詳細については、SCVMM および SCOM R2 のマニュアルを参照してください。



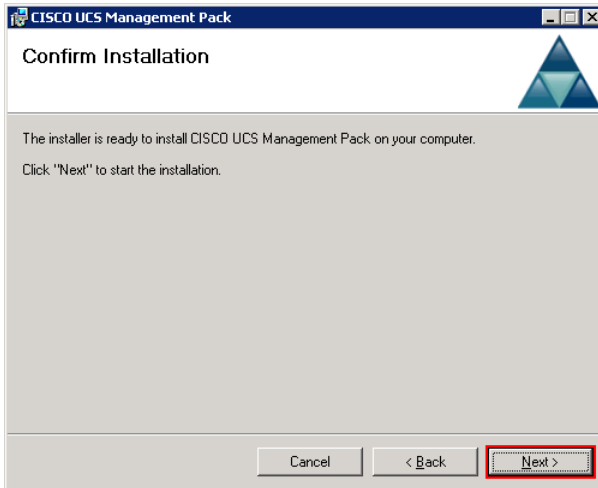
(注)

SCOM 2007 R2 には System Center Virtual Machine Manager 2008 Management Pack バージョン 2.0.3451.0 が必要です。

ステップ 4 管理パックをインストールするフォルダへのパスを [Folder] フィールドに入力します。



ステップ 5 お客様ご自身用に管理パックをインストールするには [Just Me] オプション ボタンを選択し、他のコンピュータ ユーザも使用する場合は [Everyone] を選択して、[Next] をクリックします。



- ステップ 6** [Next] をクリックしてインストールを確認し、[Close] をクリックします。
- ステップ 7** インストール中にエラーが発生した場合は、次の手順を実行してください。適切な管理パックを個別にインポートするよう求められます。
- a. System Center Operations Manager の上部のツールバーにある [Go] をクリックして、ドロップダウンメニューの [Administration] をクリックします。
 - b. [Management Packs] ノードを右クリックして、ドロップダウンメニューの [Import Management Packs] を選択します。
Import Management Packs ウィザードが表示されます。
 - c. [Add] をクリックして、[Add from Disk] を選択します。
 - d. [Online Catalog Connection] の [No] をクリックします。
 - e. [Select Management Packs to Import] ダイアログボックスで、インストール手順中に選択したフォルダに移動します。
 - f. [Open] をクリックして、[Install] をクリックします。
 - g. 管理パックがインポートされたら、[Close] をクリックします。
-

3 管理ポートへの IP アドレスの割り当て

管理ポートに IP アドレスを割り当てる手順は次のとおりです。

- ステップ 1** SCOM の上部ツールバーにある [Go] をクリックして、ドロップダウンメニューから [Authoring] を選択します。
- ステップ 2** [Management Pack Templates] ノードを展開します。
- ステップ 3** [Cisco UCS Management Port] を選択して、上部ツールバーにある [Add Monitoring Wizard] タブをクリックします。
Add Monitoring ウィザードが表示され、[Select the Monitoring Type] 領域で Cisco UCS Management Port が選択されます。
- ステップ 4** ウィザードを使用して、管理ポートの IP アドレスとポート番号を追加します。
- a. [Next] をクリックします。
 - b. [URL] フィールドに IP アドレスとポート番号を入力して、[Next] をクリックします。
 - c. [Name] フィールドに名前を入力します。

入力した名前は、[Create Destination Management Pack] フィールドに表示されます。[Use Existing Management Pack] または [Create New] チェックボックスをオンにして、管理パックを作成したり、既存の管理パックを参照したりすることもできます。

- d. (任意) [Description] フィールドに説明を入力して、[Next] をクリックします。
- e. (任意) 仮想マシンをモニタする場合は、[Virtualization] チェックボックスをオンにして、[Next] をクリックします。
- f. [Summary] ページを使用して設定が正しいことを確認し、[Create] をクリックします。

これで管理ポートに IP アドレスが割り当てられました。

4 管理者用アカウントの作成

管理者用アカウントを作成する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 SCOM の上部ツールバーにある [Go] をクリックして、ドロップダウン メニューから [Administration] を選択します。

ステップ 2 [Accounts] を右クリックして、ドロップダウン メニューから [Create Run as Accounts] を選択します。

Create Run as Accounts ウィザードが表示されます。



(注) [Run as Accounts] オプションを使用して、管理者が SCOM から UCS システムにログインし、必要な情報を取得するためのアカウントを作成します。ユーザを認証するには、管理者アカウントの詳細を UCS システム内で入手できる必要があります。

ステップ 3 ウィザードを使用して、次のようにアカウントを作成します。

- a. 概要を確認して、[Next] をクリックします。
- b. [Run as Account Type] ドロップダウン リストから [Simple Authentication] を選択します。
- c. [Display Name] フィールドに表示名を入力します。
- d. (任意) [Description] フィールドに説明を入力して、[Next] をクリックします。
- e. [User Name] フィールドにユーザ名を入力します。

- f.** [Password] フィールドにパスワードを入力して、[Confirm Password] フィールドに同じパスワードを再度入力します。
 - g.** [Less Secure] オプション ボタンを選択して、[Create] をクリックします。
- これで管理者用のアカウントが作成されました。
-

5 プロファイルへのアカウントの追加

プロファイルにアカウントを追加する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** SCOM の上部ツールバーにある [Go] をクリックして、ドロップダウン メニューから [Administration] を選択します。
- ステップ 2** [Profiles] をクリックします。
- ステップ 3** 該当するアカウントを右クリックして、ドロップダウン メニューから [Properties] を選択します。
- Run as Profile ウィザードが表示されます。
- ステップ 4** ウィザードを使用して、次のようにアカウントを作成します。
- [Run as Accounts] をクリックします。
 - [Add] アイコンをクリックします。
 - [Run as Account] ドロップダウン リストからアカウントを選択します。
 - [All Targeted Objects] または [A Selected Class] オプション ボタンをクリックして、[OK] をクリックします。
- これでアカウントがプロファイルに追加されました。
-

6 検出間隔の調整

検出間隔を調整する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** SCOM の上部ツールバーにある [Go] をクリックして、ドロップダウン メニューから [Authoring] を選択します。
- ステップ 2** [Objects Discoveries] ノードをクリックして、[Scope] をクリックします。
- ステップ 3** [Clear All] をクリックして、[View all Targets] オプション ボタンを選択します。
- ステップ 4** [Look For] フィールドに Chassis を入力します。
- ステップ 5** [Chassis] チェックボックスをオンにして、[OK] をクリックします。



(注) [Management Pack] 列の値は、管理パックテンプレートの処理中に入力された名前と一致する必要があります。

ステップ 6 [Chassis Discovery] 行をダブルクリックします。

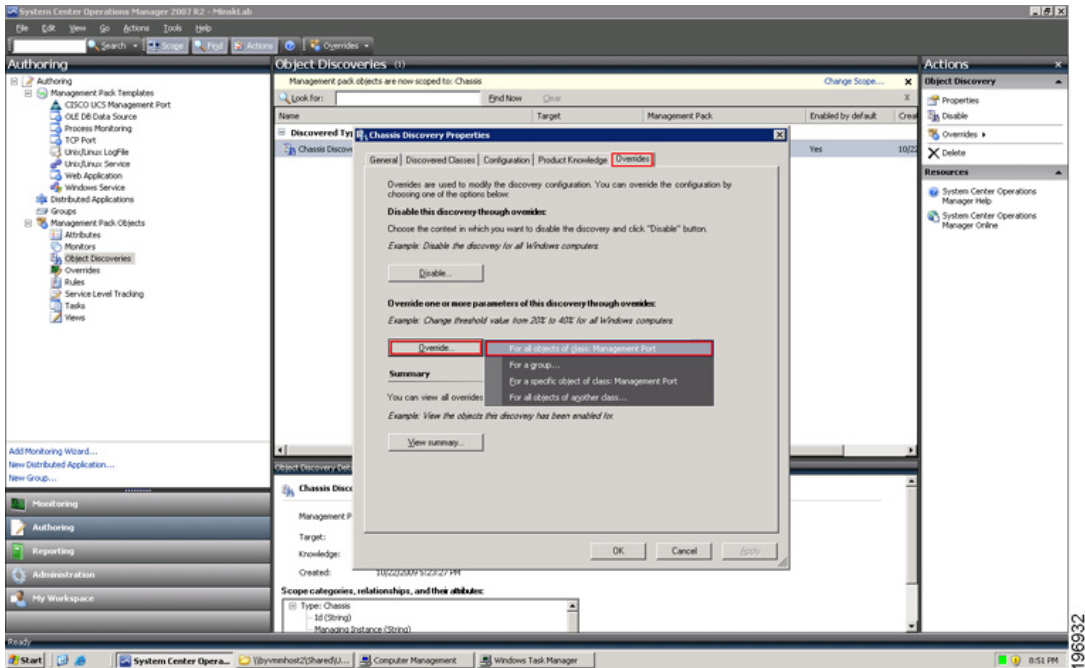
The screenshot shows the System Center Operations Manager 2007 R2 console. The main window displays the 'Object Discoveries' table. The table has columns for Name, Target, Management Pack, Enabled by default, and Created. One row is selected, 'Chassis Discovery', with a red border. Below the table, the 'Object Discovery Details' pane shows the configuration for 'Chassis Discovery', including Management Pack (machine), Target (Management Port), Knowledge (View Knowledge), and Created (10/22/2009 5:23:27 PM). The 'Scope categories, relationships, and their attributes' pane shows 'Type: Chassis' and 'Id (String)'. The 'Actions' pane on the right shows options like Properties, Disable, Overrides, and Delete. The 'Resources' pane shows 'System Center Operations Manager Help' and 'System Center Operations Manager Online'. The 'Authoring' pane on the left shows the navigation tree with 'Object Discoveries' selected.

Name	Target	Management Pack	Enabled by default	Created
Discovered Type: Chassis (1)				
Chassis Discovery	Management Port	machine	Yes	10/22

196931

ステップ 7 [Overrides] タブをクリックして、[Override] をクリックします。

ステップ 8 ドロップダウンメニューから、[For all Objects of Class: Management Port] を選択します。



ステップ 9 [IntervalSeconds] チェックボックスをオンにします。

ステップ 10 [Override Value] 列の値を別の値に変更して、[OK] をクリックします。

ステップ 11 [OK] を再度クリックします。

これで検出間隔が調整されました。

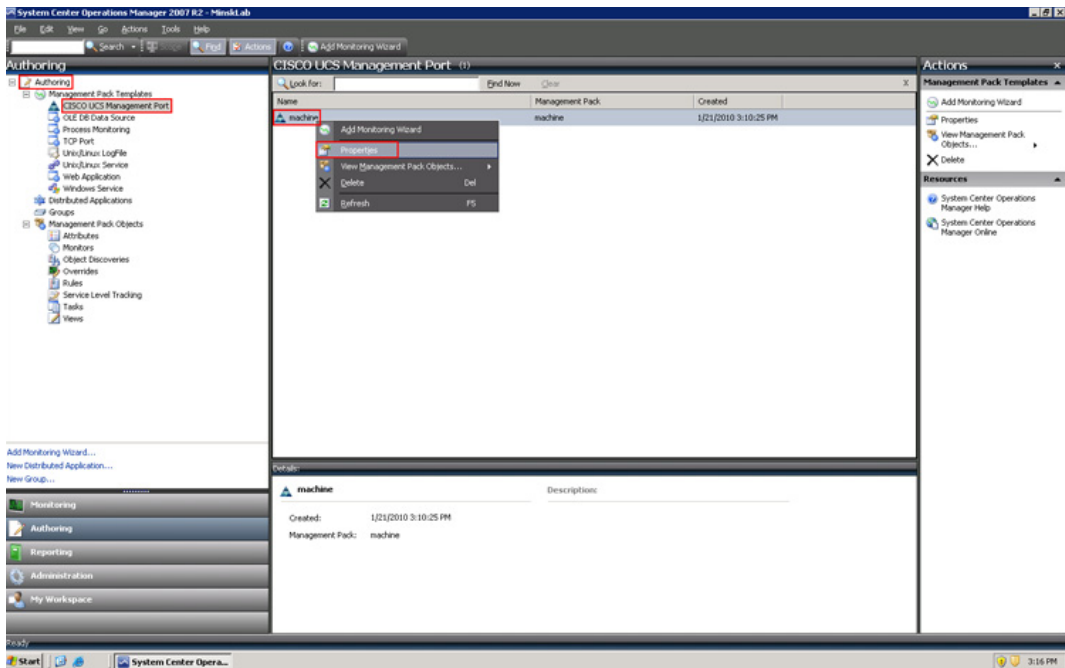


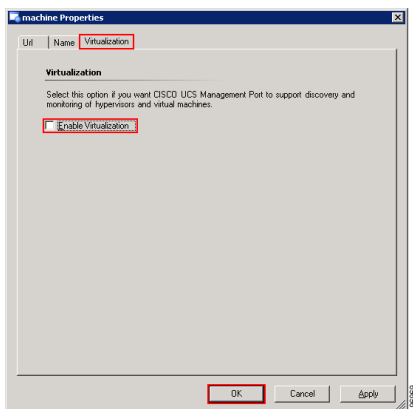
(注) Management Port、Chassis、Server、Organization、および Associated Service Profile など、すべてのオブジェクトのクラスに対してこの手順を実行する必要があります。Rules や Monitors の間隔を変更するには、同じ手順をノード Rules または Monitors から実行します。

7 SCOM R2 Management Pack のアンインストール

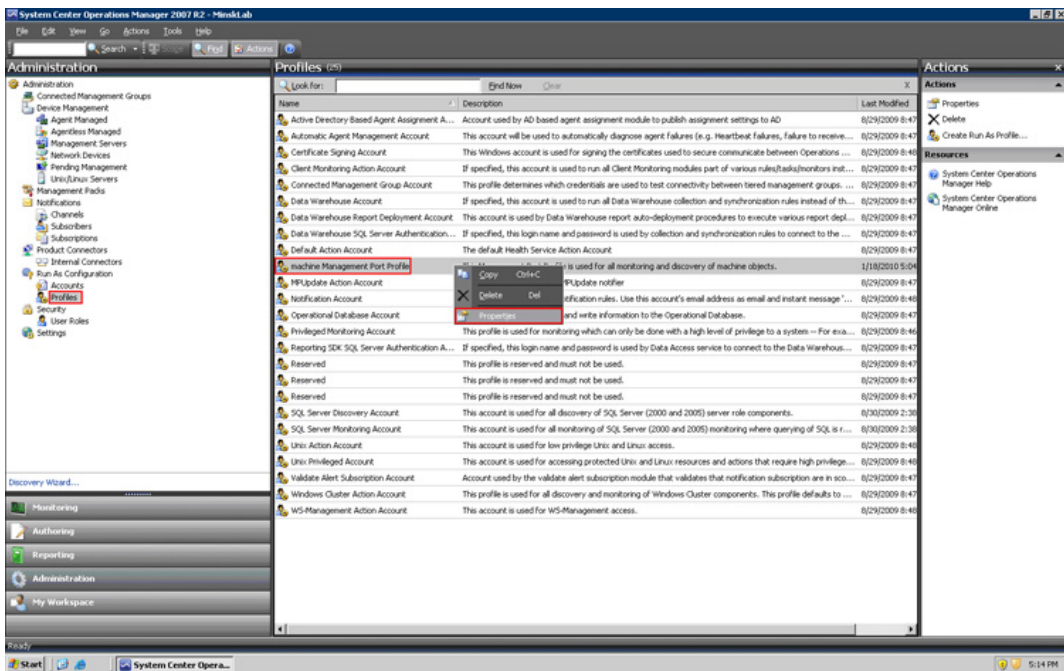
管理パックのアンインストール手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** SCOM の上部ツールバーにある [Go] をクリックして、ドロップダウン メニューから [Authoring] を選択します。
- ステップ 2** [Cisco UCS Management Port] をクリックして、お使いの PC を右クリックします。
- ステップ 3** ドロップダウン メニューから [Properties] を選択して、[Virtualization] タブを選択します。
- ステップ 4** [Enable Virtualization] チェックボックスをオフにして、[OK] をクリックします。





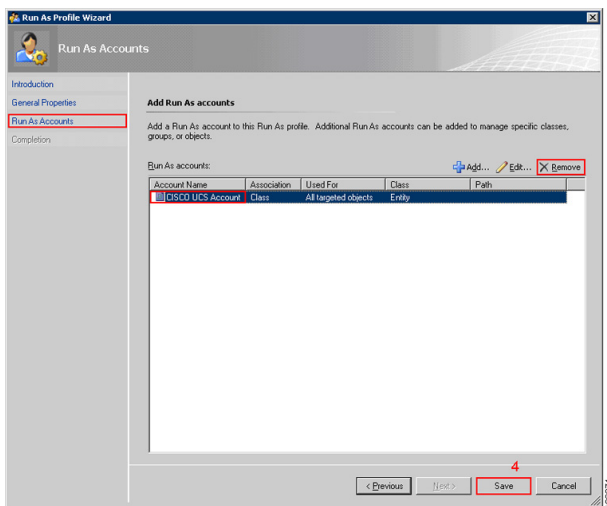
- ステップ 5** SCOM の上部ツールバーにある [Go] をクリックして、ドロップダウン メニューから [Administration] を選択します。
- ステップ 6** [Profiles] ノードを選択します。
- ステップ 7** プロファイルを右クリックして、ドロップダウン メニューから [Properties] を選択します。
Run as Profile ウィザードが表示されます。
- ステップ 8** [Run As Accounts] リンクをクリックします。
- ステップ 9** アカウント名を選択して、[Remove] をクリックします。
- ステップ 10** [Save] をクリックします。



196970

ステップ 11 SCOM の上部ツールバーにある [Go] をクリックして、ドロップダウン メニューから [Authoring] を選択します。

ステップ 12 テンプレートを右クリックして、[Delete] をクリックします。



- ステップ 13** SCOM の上部ツールバーにある [Go] をクリックして、ドロップダウンメニューから [Administration] を選択します。
- ステップ 14** [Management Packs] ノードを選択します。
- ステップ 15** 管理パックを右クリックして、[Delete] をクリックします。
- ステップ 16** [Cisco Unified Computing System Enterprise Management Pack] を右クリックして、ドロップダウンメニューから [Properties] を選択します。
- ステップ 17** [Dependencies] タブをクリックします。
- ステップ 18** [Management Packs] リストが空であることを確認して、[Cancel] をクリックします。
- ステップ 19** [Start] > [Control Panel] > [Add or Remove Programs] を選択します。
- ステップ 20** [CISCO UCS Management Pack] を選択して、[Remove] をクリックします。
- これで SCOM R2 Management Pack がアンインストールされました。

8 マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『What's New in Cisco Product Documentation』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

CCDE, CCENT, CCSI, Cisco Eos, Cisco Explorer, Cisco HealthPresence, Cisco IronPort, the Cisco logo, Cisco Nurse Connect, Cisco Pulse, Cisco SensorBase, Cisco StackPower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco TrustSec, Cisco Unified Computing System, Cisco WebEx, DCE, Flip Channels, Flip for Good, Flip Mino, Flipshare (Design), Flip Ultra, Flip Video, Flip Video (Design), Instant Broadband, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, Cisco Capital, Cisco Capital (Design), Cisco:Financed (Stylized), Cisco Store, Flip Gift Card, and One Million Acts of Green are service marks; and Access Registrar, Aironet, AllTouch, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, Continuum, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Explorer, Follow Me Browsing, GainMaker, iLynx, IOS, iPhone, IronPort, the IronPort logo, Laser Link, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, PCNow, PIX, PowerKEY, PowerPanels, PowerTV, PowerTV (Design), PowerVu, Prisma, ProConnect, ROSA, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1002R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2010 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2010–2012, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS 含む）

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。
各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/go/offices) をご覧ください。